

リリースノート (R4.0.0)  
Fieldbus Controller(LF-1100R/LF-1000)

■不具合対応

①1Hz フィルタ使用時の TRAP 出力不具合

1Hz のフィルタを使用し、かつ観測状態の時、意図しない SNMP の TRAP が繰り返し出力されるといった不具合がありましたので対応を行いました。

②設定ファイルにタブを挿入した際の不具合

USB メモリ中の設定ファイル(LFconfig.txt)で設定を行う際、設定項目と設定値を結び付けている「=」文字列の前後にタブが存在すると、設定値が反映されずデフォルト値に設定されるといった不具合がありました。タブが挿入されていても設定値を反映するように対応を行いました。

③USB メモリに生成された不正 ACT 退避ファイルに対する対応

ACT 送信プログラムが USB メモリに退避させたデータを再送する時に、不正な(壊れた)ACT 退避ファイルがある場合、ACT 送信プログラムが停止してしまう不具合がありました。よって、不正な ACT 退避ファイルが存在しても ACT 送信プログラムが継続して動作できるように対応を行いました。

ACT データが USB メモリに退避されている最中に、LF-1100R/LF-1000 への給電が断たれた場合、ACT 退避ファイルが壊れてしまうことがあることを確認しています。「SHUTDOWN」ボタンの長押し後に電源を落とした場合(正常な電源断動作)、不正な退避ファイルはできません。

■改良

④IP アドレスの 8 進数表記設定に対する対応

IP アドレスの設定に関して、先頭に「0」をつける 8 進数表記の処理に混乱がありました。「192.168.0.020」のように記述しても、8 進数表記としては解釈せず、先頭の「0」を無視して 10 進数として解釈するように統一しました。

■追加機能

⑤コントローラ・デジタイザのアップデート機能

以下の手順 1 によって、コントローラ・デジタイザを最新のバージョンにアップデートできる機能を追加しました。

【手順 1】

1. 弊社のダウンロードサイトから最新のソフトウェア(LFpkg-4.0.0.tar.gz)とアップデートスクリプト(auto\_update.sh)をダウンロードする
2. FTP コマンド、もしくは汎用の FTP アプリケーション(FFFTP 等)を使用し、root ユーザでコントローラにログインする

3. FTP によって、上記 2 つのファイルをコントローラの「/root/」ディレクトリに転送する
4. FTP コマンド、もしくは FTP アプリケーションを終了する
5. Telnet コマンド、もしくは汎用の Telnet アプリケーション (TeraTerm 等) によってコントローラに root ユーザでログインする
6. 以下のコマンドを実行し、アップデートを行う (「#」以降を入力する)  
# chmod +x ./auto\_update.sh  
# ./auto\_update.sh 4.0.0
7. 「The system is going down for reboot NOW」と表示されることを確認する
8. 5 分後、Web ブラウザでコントローラにアクセスする
9. 「リアルタイム情報表示」でバージョンが以下のようになっていることを確認する  
-- 基本情報 --
  - ・ソフトウェアバージョン : 「4.0.0」  
-- 観測関連情報 --
  - ・ファームウェアのバージョン : 「20100712152300」
  - ・FPGA コンフィグレーションのバージョン : 「LFfpga\_6ch\_176.rbf」 (2000 シリーズの場合)  
「LFfpga\_3ch\_796.rbf」 (2100 シリーズの場合)

■次回リリース予定

次回リリース予定はありません。

以上